

住みよいまちへ 地域で育む絆



地域コミュニティ課 ☎ 65-1218

自治会は、隣近所に住む人たちで自主的に運営されている最も身近な住民自治組織です。住みよい地域をつくるため、他人任せではなく、そこに住む人たちがみんなで助け合って活動していくことを目的としています。

安心して住みやすい活気あるまちを目指して、地域づくり活動に参加してみませんか？

のぞいてみよう！地域の活動

現在、市には18の校区連合自治会があります。地元の公民館や各種団体と連携してイベントを行うなど、顔の見える関係づくり、いざというときに備えた体制づくりに力を尽くしています。今年度もコロナ禍の中で試行錯誤しながら、各地域ではさまざまな活動が行われました。

惣開



コロナ禍でも「今できること」を見つけ出し、新たな事業に取り組んでいます。12月には「ウインターフェスタ in そうびらき」を開催するなど、地域内がつながることができています。

若宮



「一人の犠牲者も出さない」をスローガンに、今年度は緊急時に防災用品の活用ができるように消防署と地区消防団などと防災訓練を実施。初期消火や心肺蘇生など良い訓練となりました。

宮西



昨年11月に「オータムフェスタ in くちや」を開催。北中生が中心に企画・運営し、柔軟な発想で盛り上げました。初めての試みながら、演技者や観客が一体となったイベントになりました。

新居浜



1月10日(火)に「七草粥を食べて元気になろう！」をテーマに実施。無病息災や家内安全、地域発展を願って準備し、来館した地域住民、小・中学生との交流の場となりました。

金子



「災害は待ってくれない」を合言葉に、昨年11月に防災訓練を実施しました。自治会・諸団体、南中・金子小の教員も参加。消防本部や市関係部署、金子消防団と合同で訓練ができました。

金栄



冬の風物詩・ドリームツリーの点灯式が昨年12月にあり、LED 9万個が輝く中、金栄小創立70周年を示す「70」や校章、6年生の合言葉「パワー！」が見事に浮かびあがりました。

高津



コロナ禍で作品展示と遊休品販売を中心に3年ぶりの文化祭を開催しました。午前中3時間だけの開催でしたが、当日は1,000人余りの地域の人々が集い、大変楽しく交流ができました。

浮島



浮島校区には、浮島小児童が作成した「地域を明るくする標語」や「海や浜辺を美しくする標語」を地域のシンボルとして、校区随所に掲示しています。

垣生



垣生山整備は、自治会を中心に各種団体、PTA、児童生徒も参加し、三世代交流の場にもなっています。垣生山は垣生小のイベント活動や地域の皆さん憩いの場として活用されています。

神郷



コロナ禍でも子どもたちの夏の思い出づくりにと、地域のみんなで手作りのお化け屋敷を企画・運営しました。お化け役の熱演に、入り口から子どもたちの悲鳴が上がりました。

多喜浜



昨年12月に「多喜浜ふゆまつり&イルミネーション」を実施しました。コロナの早期収束と、地域住民に癒やしを届けようと公民館周辺をイルミネーションで照らしました。

大島



1月9日(月)早朝に無形文化財の「とうどおくり」をしました。とうど1基を作り、点火。3年ぶりの渡海船臨時便もあり、島内外から来客を迎え、無病息災を祈りました。

大生院



三世代交流と伝統文化の継承を目的として、餅つき体験会をイルミネーション点灯式に合わせて実施しました。元気いっぱいの子どもたちが一生懸命に餅をついていました。

中萩



校区防災訓練で災害伝言ダイヤル「171」のブースを新たに設置しました。また例年通り中学生も講師となり参加。子どもから高齢者まで助け合える中萩のまちづくりに励んでいます。

角野



コロナ禍を想定した防災訓練を実施しました。今回は災害現場での体験談を交えた「捜索犬による捜索訓練」も行われ、子どもから高齢者まで楽しみながら防災意識の向上を図りました。

泉川



昨年12月に歳末ふれあい運動を開催しました。88歳以上の1人暮らしの高齢者宅を中学生が土産を持って訪問。小学生が書いたポストカードなどが喜ばれ、笑顔あふれる活動になりました。

船木



船木校区連合自治会などが平成16年から毎年年末に実施している「年末合同パレード」。船木一円を回って年末年始の交通安全や防犯、火災予防を住民に呼び掛けています。

別子



高齢者に餅を届けようと、昨年12月に餅つきを実施しました。子どもから高齢者まで和気あいあいとつきあげ、役員が高齢者を訪問して配布し、良い交流の機会になりました。

第9回地域の絆づくり運動

市連合自治会では、地域のつながりの大切さを改めて考えてもらうきっかけとなるよう、「地域の絆」をテーマに小中学生が普段の生活や学校・家庭の中で、地域の人々のやさしさに触れて感じたこと、地域の人と一緒に何か活動したことなどを自由に作品にしてもらいました。絵画部門には124点、作文部門には288点の応募があり、入賞作品が決定しました。

最優秀賞 絵画部門



小学校低学年の部
多喜浜小学校3年 神野 結翔
「海のゴミ拾い」



小学校高学年の部
金栄小学校5年 久保 心乃美
「安全な通学路にしてくれてありがとう」

入選作品を展示しています

フジグラン新居浜

2月27日(月)～3月5日(日)

最優秀賞 作文部門

小学校低学年の部

多喜浜小学校2年 高橋 武瑛志
「たのしかったボンデン広場」

小学校高学年の部

多喜浜小学校6年 宇高 愛生
「ボンデンに参加して」

中学校の部

北中学校1年 大倉 優月
「私と地域のつながり」

宝くじの収益でまちを元気に

(一財)自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりなどに対して助成を行っています。

今年度は市内3カ所の校区連合自治会と1カ所の単位自治会が、地域活動に使用する備品を整備しました。



一般コミュニティ助成事業

各校区で必要なコミュニティ活動備品を整備しました。一部紹介します。



宮西校区連合自治会



金栄校区連合自治会



浮島自治会



泉川校区まちづくり連合自治会